

「修了者の声」第3弾は、建築設備施工科を修了し現在は「株式会社平井設備」にお勤めの岡本さん（写真左前）と間さん（写真左奥）お二人にインタビューしました。



「修了してみても率直な感想をお願いします。」

岡本さん 水道や電気、空調など建築に係わる全般を学習できたことはよかったと思います。また、訓練期間中にガス溶接技能講習修了証の取得や第二種電気工事士を合格できたことは大きかったと思います。人生であ

んなに勉強したことはなかったですが、久々の学生生活で夏休みまで頂き、大変充実していましたね。

間さん 私は遠慮しがちな性格なので、最初、戸惑いはありましたが、すぐに学校生活に慣れました。また、クラスメイトの年齢層も幅広く様々な方と毎日楽しく学べたので、入学してよかったです。率直に楽しかったですね。

「城東センター・建築設備施工科を選んだきっかけを教えてください。」

間さん 仕事を辞めて、半年くらいアルバイトだけの時期がありました。そろそろまじいなと思っていたところ、親が城東センターを見つけてきました。家からも近いですし、費用なども安く、半年で職につけるとのことで城東センターを選びました。もともと働いていたときに空調関係に携わっていたことやジヨブセレクト科で様々な科目の体験を通じ、空調関係の勉強をやりた

と、当時は思い建築設備施工科を選びました。

※ 「ジヨブセレクト科」は、主に就業経験のない若者の方を対象に2ヶ月間でさまざまな業種の訓練や就業基礎を学びます。また、他科への

連続入校が可能な科目です。

岡本さん もともと職業訓練校は母親から聞いたことはありました。前の会社を辞めて再就職をするときは、違う職種の仕事をやろうと考えていました。いきなり違う職種に入るのは勇気がいると思います、ハローワークで相談したところ紹介されたのが城東センターでした。そこで見学会に行ってみたら、元氣な先生がいて、すごく楽しそうに見えたのが建築設備施工科でした。学生の人に建築の専門学校にいたこともあって、この科に決めました。

「学校生活で印象に残っている出来事は何かありますか？」

岡本さん 夏に小学生を招いておこなった水鉄砲工作教室ですね。私は子供が好きなので、私ももう一人のコンビで準備をして楽しみに待っていたのですが、いざ、工作教室が始まると私たちのところにだけ誰も来ませんでした。少しだけ悲しかった思い出です。（笑）授業だとあくく溶接の授業が印象的でした。

間さん 私は技能祭ですね。私は空気鉄砲の担当でした。子供たちがたくさん来て

いたので、忙しかったのがいい意味で印象に残っています。また、技能祭の準備は入校して1ヶ月目だったのですが、最初は不安があったのですが、準備などをおこなっていくうちにみんな打ち解けていました。結果的に技能祭で仲良くなれたと思います。授業では、総合製作が印象的でした。総合製作では図面担当でしたが、実際にあるものを写して作るのと最初から計画して作るのでは全然違い苦労しました。

※ 「総合製作」とは、生徒自身が模擬家屋の設計、工期管理、施工する授業のこと。

「訓練の中で、苦労したことや大変だったことは何かありますか？」

岡本さん 私は体力に自信がないので、鋼管の実技は苦手でした。毎日が筋肉



岡本さん



間さん

痛だったことを憶えています。

間さん 私は第二種電気工事士の試験に使う部品や工具の名称などを覚えるのに苦労しました。でも、授業中にクラスのみなどで助けあって乗り切りました。

【就職活動はどのようにおこないましたか?】

岡本さん 私は4月入校なので、8月終わりくらいから活動をはじめましたね。建築設備施工科では、夏休み終了後くらいから、就職活動の雰囲気になっていました。クラスに年上の方がいると、特に言葉が発するわけではないのですが、そういう雰囲気にはなっていましたね。企業選びでは、学校求人の方が確実に信頼性が高いと感じましたので、基本的に学校求人のみで就職活動をしていました。就職支援の利用では模擬面接をしてもらいました。模擬面接したことで、緊張せ

ずに本番の面接を向かえることができたのでいい練習になったと思います。

間さん 私は入校して大体3か月目くらいから始めたので、10月入校生だと1月くらいからです。正月明けから始めるぞという感じですね。私も基本的に企業選びは学校求人です。私の場合は先生に相談しながら、いくつかの候補を決めて、最終的に選びました。就職支援では、この会社を受けるために模擬面接をしてもらいました。その時のアドバイスは、面接時に助かりました。また、履歴書は書き慣れてはいなかったのですが、先生に添削して頂きました。たくさん直された記憶があります(笑)

【城東センターで学んだことが活かしていると感じることはありますか?】

岡本さん 勾配の見方は現場でもよく使っています。あとは、一番ためになったのは衛生器具の取付けです。家を建てた後の仕上げ作業の衛生器具の取付けは、一回でも勉強していたことはよかったです。あとは面接をしていて感じたことですが、ある企業の面接官から今まで入社した人で工具を知らない人がいたと聞きました。ちょっとでも工具の名前などの知識があると面

接でも有利だなと感じました。

間さん 道具の使い方や継手の名称を学ぶことができたのはよかったです。会社に入っても新しく覚えることが多いのですが、ある程度ことはわかったので本当に助かりました。

【これから入校を希望する方やまだ入校を迷われている方へ何か一言お願いします。】

間さん 勉強していくスピードも人それぞれ違いますが、ゼロからのスタートの人が多くと思います。ゴールが一緒で学んでいく内容も同じなので、助け合いながら、仲良く訓練ができると思います。先生も明るく優しいので、難しく考えずにとりあえずやってみてください。

岡本さん アドバイスとしては、少し体力が必要な職種でもありますので、体力づくりや運動が必要かなと思います。でも先生がフランクに接してくれるので、苦労もありますが楽しんでみながら訓練してください。ぜひ、体力に自信がある方は入校していただければと思います。

【本日は長い時間ありがとうございました。】

岡本さん・間さん ありがとうございます。



【編集者の声】

今回の取材は、建築設備施工科の指導員の先生と一緒に取材をさせて頂きました。お二人と話してみて、とても明るく気さくな修了生だと感じました。また、先生とも仲が良く終始笑いが絶えない取材となりました。最後に、「久しぶりに先生にあえて元気をもらいました」と言ってくれました。今後も2人のご活躍を願っております。